

■ 玉川子ども体験合校

(遺跡と萩の育む玉川まちづくり推進会議 文化教育部会)

1 【活動の趣旨】

こどもの学校外での体験活動や交流活動を学校・地域が連携して支援し、玉川の未来の希望となるこどもの育成(自発的に考えて自立できる力や他者への思いやり、協調する心を育てる)を目指す。

2 【特徴的な活動内容】

◆子ども体験合校(5回開催)

○第1回『科学実験を楽しもう!』

立命館大学ライフサイエンス研究会の学生による科学実験教室。ショーの鑑賞や実験を通して科学の楽しさに触れることができた。



【もちつき体験】

○第2回『防災体験教室』

湖南広域消防局南消防署、市危機管理課より災害時の行動について学び、防災バックッキングでカレーライスを作るなど、有事の際、自主的に行動できる知識を習得した。

○第3回『館外イベント』

コロナ禍以来となった館外イベント。公用バスを利用し、キリンビバレッジ滋賀工場の工場見学と安土城考古博物館、安土城天主「信長の館」を鑑賞した。



【防災体験教室】

○第4回『もちつき体験』

地域の方々のご指導を受けて、杵と臼を使って昔ながらのもちつきを体験した。

○第5回『書き初め体験』

玉川学区出身の書道家 三浦清舟先生のご指導のもとで、それぞれ思いを込めて力強く筆を走らせた。

◆センター事業×学区青少年育成区民会議への協力『玉川キッズわくわくデー』

夏休み期間、小学1～3年生を対象に風鈴作りや軽食作り、ポッチャ体験、シャボン玉遊びを楽しんだ。



【館外イベント】

3 【実施に当たっての工夫】

参加者を縦割りでグループ編成し、役割と目当てを設定、活動の達成度を確認し、事業の最後に振り返りを各グループで発表してもらった。(事業内容による)

4 【事業の成果】

日頃できない体験を通して感受性や経験値を豊かにし、協調性や自主性を高めることができた。



【玉川キッズわくわくデー】

5 【事業の今後の展望】

学校を取り巻く状況が大きく変わる中、これまでの“活動の趣旨”を再確認しつつ、新たに甲賀市での里山体験を計画し、自然との共生や持続可能な地域づくりを学ぶ機会を創出するなど、こどもたちの生きる力を育む「玉川子ども体験合校」を目指す。